

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36204	やさしいソーイング Easy sewing	杉浦菜穂子			1	選択	1、2前期
科目の概要							
「ワードローブを楽しく作ろう!」をテーマとして、楽しくソーイングの基本を学んでいく。洋裁の技能を修得していることは、ファッション関連の仕事に就きたいと考えている場合以外にも、日常生活で衣生活を充実させることへとつながる。そこでスカート等の制作を通して製図、裁断、縫製に必要な洋裁道具の種類と名称および使用法、手入れ法を学修する。さらに素材に対する縫製上の留意点、適切なアイロン使用法、ミシン・ロックミシンの使用法、接着芯の扱い方、用布の見積り法など縫製の基本技術を修得する。ICTを活用した教材GFP(Gakusen Fashion Prime)を使用し、細かな技術を体得する。制作・学修を通じて社会人基礎力を向上し、将来の仕事や衣生活に活かせるスキルと建学の精神である真心を込めて洋裁道具を扱い、道具への感謝の感謝の気持ちを身に付ける。pisa型学力として獲得した知識を活用し、オリジナリティ溢れる作品を製作する。これはディプロマポリシーの①②と③に相当する。これらを身に付けるために行う。							
学修内容				到達目標			
① 洋裁に使用する用具や材料の使用方法を学び、適切に使用できるようになることを目的とする。 ② 縫製の基本技術を学び、応用できるようになることを目的とする。				① 目的に合わせ、洋裁道具を使用することができる。これはディプロマポリシーの②に相当する。 ② 洋服を製作することができる。(正しい採寸ができる。・型紙制作(パターンメイキング)ができる。・生地にあった裁断ができる。・目的に合った縫製ができる。)これはディプロマポリシーの①②③に相当する。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業時間だけでなく、授業時間外や自宅等で自主的に制作を進め、より良い作品、多数の作品を制作することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	本科目の到達目標、評価方法、到達目標の基準を確認し、自身の制作目標を設定する。設定した目標を意識し、達成できる。					
考え抜く力	課題発見力	生地や目的を考慮し、適切な裁断や縫製方法を選択することができる。					
	計画力						
	創造力	作品に授業で修得した知識・技術を活用し独自に創意工夫することができる。					
チームで働く力	発信力	教員から技術指導を受ける際、制作状況、自己の考え、疑問点をわかりやすく説明できる。					
	傾聴力	教員から指導を受ける際、積極的に聞く姿勢がみられる。重要な点はメモをとり、疑問点や不明点は質問して、指導内容を正しく理解することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：プリント配布 参考文献：なし 材料費：作品製作費用として生地代、その他材料代 約3,000～4,000円							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：ファッション造形、アパレルパターンメイキング 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
・毎回の授業予定に到達できなかった場合は、必ず次回授業までに到達しておくこと。 ・早く作るよりも、やり直してでも丁寧に仕上げましょう。				・実習授業であるため、遅刻、欠席はしないこと。時間、ルール、提出物期限を厳守すること。授業開始時には必要道具を揃え、受講できる姿勢ができています。携帯電話の電源は切り、鞆に入れておくこと。 ・ファッション造形、総合ゼミナールの履修を予定している学生は、1年次に履修するのが望ましい。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
		レポート	0	①				
				②				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・課題作品①「ギャザースカート」②「プルオーバー」③「基礎縫い」 作品が正確かつ丁寧に制作できていて、美しく仕上がっているか、創意工夫はみられるか評価する。 ・課題作品発表会では、努力し創意工夫した点を分かりやすく伝えることができたか評価する。 ・課題作品が獲得した専門的知識・情報等の資源を活用して製作されているかを評価する。
				②	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：自ら知識を深める姿勢・行動を取ることができる。 実行力：期日までに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進める、やりきることができる。 課題発見力：知識を活用して論理的に考えることができる。 創造力：既存の知識を元に試行錯誤し、独自の考えを作ることができる。 発信力：相手がわかりやすく、正確に理解できるよう、工夫して伝えることができる。 傾聴力：話を聞く姿勢が見られ、内容を正しく理解できるよう行動することができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルS（秀）の基準 ・Aの基準に加えて、積極的な受講態度が見られる。 ・作品はデザイン性、独創性に優れ特に完成度の高い作品として仕上がっている。 到達レベルA（優）の基準 ・制作課題に対して懸命に取り組んでいる。 ・作品が正確かつ丁寧に制作できており、美しく仕上がっている。	到達レベルB（良）の基準 ・制作課題を完成できている。 ・教員の指示通りの制作を行い、創意工夫したところはみられない。 到達レベルC（可）の基準 ・提出物の不備、課題に対して意欲的な姿勢がみられない。 ・作品の仕上がりに粗雑なところがみられる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ガイドダンス ・製作の必要性とその意義、教室の使用方法、ルールについて学修する。 ・製作に必要な用具の名称、扱い方について学修する。 ・制作工程について学修する。 ・布の見積もり方について学修する。 ・手縫いを学修する。	講義 制作の概要と授業のながれを解説する。	・授業の目的と意義を理解し、実習に必要な用品を準備できる。 ・教室のルール、洋裁道具の名称、扱い方がわかる。 ・制作工程を計画することができる。	(予習) 実習に必要な用具の注文、材料の準備をする。 (復習) 用具の名称、扱い方を覚える。	90	発信力 傾聴力 規律性
2	ミシンの使い方を学修する。 ・GFPを活用し、ミシン、ロックミシンの各部名称と使い方を学修する。パソコンを使用し、クラスルームGFPを参照する。繰り返し動画を視聴しミシンの使用方法を確認する。 ・直線縫い、ギャザーの寄せ方を学修する。 ・地直しの仕方を学修する。	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・ミシン、ロックミシンを操作することができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。スカートのデザインについて調べる。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。地直しをする。スカートのデザインを考えてくる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	ギャザースカート製作 ・スカートの基本 ・採寸の仕方を学修する。 ・パターンメイキングを学修する。	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・採寸の仕方を説明することができる。 ・ギャザースカートのパターンメイキングができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。スカートのデザイン決め。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	ギャザースカート製作 ・裁断、印付けの仕方を学修する。	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・ギャザースカートの裁断、印付けができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。地直しをしてくる。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
5	ギャザースカート製作 ・脇ミシン→アイロン ・ミシンの直線縫いを学修する。 ・脇の縫い代をアイロンで割る方法を学修する。	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・ミシンを正しく操作することができる。 ・ミシンでの直線縫いができる。 ・脇の縫い代をアイロンで割ることができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
6	ギャザースカート製作 ・ウエスト、裾の始末の仕方を学修する。 ・ロックミシンのかけ方を学修する。	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・ロックミシンを正しく操作できる。 ・ウエストと裾にロックミシンをかけることができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
7	ギャザースカート制作 ・ウエストの始末の方法を学修する。 ・ウエストアイロン→ミシン	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・ウエストの始末ができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
8	ギャザースカート製作 ・裾の始末の方法を学修する。 ・奥まつりの方法を学修する。 パソコンを使用し、クラスルームGFPを参照する。繰り返し動画を視聴し奥まつりの方法を確認する。 ・裾をアイロンし、奥まつりをする。	実習・ICT活用 GFPを活用し、奥まつりの方法を学修する。データで提出された課題にメールで返答し、フィードバックを行う。	・裾の始末ができる。 ・奥まつりができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ギャザースカート製作 ・作品の仕上げ方法を学修する。 ・ウエストにゴムを通す。 ・仕上げアイロンをかける。	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・ゴム通しの方法を工夫することができる。 ・仕上げアイロンをかけることができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
10	ブルオーバー製作 ・縫い代付きパターンメイキングを学修する。	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・ブルオーバーの縫い代付きパターンメイキングができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
11	ブルオーバー製作 ・裁断・印のつけ方を学修する。	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・裁断・印付けができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
12	ブルオーバー製作 ・衿ぐりの縫製方法を学修する。	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・衿ぐりの始末ができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
13	ブルオーバー製作 ・袖口、裾の始末の仕方を学修する。	実習 提出した計画表を記述で返答し、フィードバックを行う。	・袖口、裾の始末ができる。 ・糸の始末、仕上げアイロン、作品の確認をすることができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。縫製手順の確認。 (復習) 計画表の記入。縫製手順の確認。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
14	基礎縫い（オンデマンド） ・奥まつり	実習・ICT活用 オンデマンドGFPを活用し、奥まつりの方法を学修する。 ・データで提出された課題にメールで返答し、フィードバックを行う。 パソコンを使用し、クラスルームGFPを参照する。繰り返し動画を視聴し奥まつりの方法を確認する。	・奥まつりができる。	(予習) 実習に必要な用具・材料の準備をする。 (復習) 計画表の記入。仕上げ。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
15	課題発表会 ・製作した作品を発表する。 ・他者の作品を鑑賞しレポートにまとめ提出する。	演習、プレゼンテーション クラスルームにて課題発表を行い、他者の作品を見て学ぶ。 提出された作品・レポートに返答し、フィードバックを行う。	・製作した作品を発表、他者の作品の評価をレポートにまとめ、提出することができる。	(予習) 作品の確認、糸の始末、仕上げアイロン。発表の準備。 (復習) 製作 記録をまとめる。	90	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力